

事務事業チェックシート

事務事業No **526** 事業名 **脱色規制管理事業**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	脱色施設管理費		
	大事業	脱色設備管理事業		
事項	脱色規制管理事業			

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	1	生活環境の保全
基本方針	2	水環境・土壌環境の保全

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令	下水道法、和歌山市下水道条例		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	終末処理場管理課	山本 勇 (447-3331)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		事業内容					
事業概要	終末処理場放流水の色条例規制基準を遵守するため、公共下水道区域内の色等規制対象工場・事業場の排水を監視指導することにより、公共下水道への悪質排水の流入を未然に防ぐ。また、公共用水域の水質保全を図り、市民の快適な生活環境を確保する。		①色等規制対象工場・事業場排水の着色度の検査。 ②除害施設（着色排水の処理施設）の運転状況を把握するため対象事業場への立入。 ③違反事業場に対する行政指導及び処分。 ④脱色等監視測定基地での着色水の監視。				
	実施内容	平成25年度 排水の検査及び指導 (延検査項目; 163項目)	平成26年度 排水の検査及び指導 (延検査項目; 112項目)	平成27年度 排水の検査及び指導 (延検査項目; 109項目)	平成28年度 排水の検査及び指導 (延検査項目; ○○○項目)	平成29年度 排水の検査及び指導 (延検査項目; ○○○項目)	

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,423	3,420	4,105	3,893	7,392	6,716	4,070		4,070	
伸び率 (%)	-	-	19.9%	80.1%	80.1%	730	-44.9%		0.0%	
人件費	常勤職員	7,452	8,388	8,388	8,233	8,233	8,711	8,711	8,711	8,711
	非常勤職員	1,005	1,004	1,004	936	936	730	730	730	730
	小計	8,457	9,392	9,392	9,169	9,169	9,441	9,441	9,441	9,441
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	3,423	3,420	4,105	3,893	7,392	6,716	4,070		4,070	
所要人数	常勤職員	1.00	1.10	1.10	1.11	1.11	1.15	1.15	1.15	1.15
	非常勤職員	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.33	0.33	0.33	0.33
主な予算内訳	管理委託料 2,992千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	立入件数	年度目標値								
		実績値			163	112	109			
	単位	件	年度別達成度							
			全体目標値							
成果指標	基準適合率(基準適合件数/延検査件数)	年度目標値			100	100	100	100	100	
		実績値			97.5	98.2	99.1			
	単位	%	年度別達成度			97.5%	98.2%	99.1%		
			全体目標値			100	100	100		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	対象事業場が除害施設等を適正に維持管理しており、排除基準はほぼ遵守されている。規制業務は、直接行政機関が行う業務であり、今後も現状の取組みが必要である。
「見直し」 「改善」案	今後も効果的な規制業務を実施し、基準適合率の向上に努め処理場流入水質の安定化を図る。